

リサイクル

循環型社会の構築に向け、「ゴミの減量・資源化を図るため、分別の徹底やリサイクルの一層の推進啓発、手軽なコンパクトの普及と家庭用生ごみ処理機の補助、エコバッグの利用の啓発などを積極的に実施してまいります。

「11(プラスワン)みんなで進める

協働のまちづくり

この施策は、今まで申し上げてきた「6つの施策の柱」を町民みんなの力で推進するためのものであり、「11(プラスワン)」としているのは6つの施策を実施するためには必要不可欠なものであることを表しており、町づくりの合言葉・スローガンである「みんなでつくろう」日の出町！」そのものでもあると考えております。

是非、町民の皆さまには、それぞれの立場からまちづくりに積極的に参画していただきたいと存じます。

主な施策として、ジェンダー平等推進として、「女性を対象としたパソコン講座」を開講し、社会での活躍を目指す女性を応援いたします。このほか、東京都のパートナーシップ宣誓制度創設に伴い、宣誓した町民の方を町営住宅入居条件に含めることといたします。

令和5年度予算案

予算編成の基本方針

令和5年度予算編成については、行政改革の不断の取り組み強化を最重要方針とし、以下を基本方針として定めております。

- (1) 第五次日の出町長期総合計画に掲げる「6つの施策の柱11(プラスワン)」を中心施策とし、後期基本計画の初年度であること、また、事務事業評価の結果を踏まえ、目標達成に向けた取り組みを着実に進めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続し、町民の生命、生活を守るとともに、自治体DXの推進に向けた取り組みなど、「ポストコロナ」に向けた取り組みを遅滞なく進めるとともに、全世代型社会保障改革の流れ、子育て施策を取り巻く制度変化など、社会情勢・環境変化に対応するための行政運営全般について広く検討を進め、持続可能な取り組みへの転換を図ること。

財政規模

令和5年度の一般会計予算案の総額は、前年度比2.9%減の92億2千万円となりました。

歳入では、根幹をなす町税が、町民税及び固定資産税の増により前年度比6.9%増の27億9千109万6千円とな

り、地方交付税は普通交付税の増加に伴い20.9%の増、また、東京都の市町村総合交付金は3.5%の増を見込みましたが、東京たま広域資源循環組合からの地域振興費については、協定に基づき9.5億円から8億円に減少するなど、非常に厳しい財政環境のもと、財源の確保に努めたところですが、投資的事業の一部については世代間の負担の公平化の観点と、財源不足に対応するため町債を活用することといたしました。また、財政調整基金の取り崩しについては、45.9%減の1億7千700万円にとどめることができました。

歳出では、日の出町行政改革(その5)に掲げた福祉単独施策の見直しを反映したほか、中心施策である「6つの施策の柱11(プラスワン)」の各事業経費は政策的経費として必要額を確保し、住民サービスの維持につとめたところがございます。

また、厳しい財政環境の中にあっても、「人にやさしく住みよいまちづくり」を基本理念として、「未来への一歩」日の出町が未来へ向かって進んでいくための決意・新たな一歩として、予算編成を行ったものであります。

この一般会計に国民健康保険などの3つの特別会計の予算総額は、133億2千100万円となり、前年度比1.1%の減額となりました。

本年度より公営企業会計となつた下水道事業会計を加えた予算の総額は、146億7千200万円となり、前年度比2.8%の増額となっております。

結びに

令和5年度の町政を進めるにあつた政策及び中心施策、また、それぞれを裏付ける予算等について申し上げますが、今後も、引き続き町政を充実・発展させていくためには、この町の主人公である町民の皆さま、議決機関である町議会及び議員各位、並びに執行機関である、私、町長をはじめとする各行政委員会及び行政委員、また、執行機関を補助する町職員が、「みんなでつくろう」日の出町！」を合言葉に、それぞれの役割や責務を果たし、理解し、協力し合うことが一番大切であると思います。

ポストコロナ、ウイズコロナを見据え、「人にやさしく、住みよいまちづくり」に職員一丸となつて日々全力で取り組んでまいり所存でございますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。令和5年度の施政方針といたします。

令和5年2月28日

日の出町長 田村 みさ子

